

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。  
 下記に必要事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

組織・グループ名	愛川芸術就継Bみらいのあいの家設立準備室
グループの属性	①セルフヘルプグループ・当事者団体等      ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	①一般助成 ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 [ ]
助成事業名	特別支援学級を対象とした「巡回アート体験講座」開催事業

助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。

「ミニカホン演奏会」

○巡回アート体験講座

・2地域（愛川町、座間市）の小学校で2回（9月、3月）実施。  
 対象は特別支援学級の生徒（1年生～6年生、知的・情緒・身体障がい者）、参加人数25人。

①座間市立東原小学校特別支援学級「ミニカホン演奏会」

9月15日、参加生徒8人、音楽講師、会員で対応  
 視覚的な音符表と指導により、音の違いやリズム演奏を体験  
 誰でも叩くだけで参加でき、叩き方の違いが出ても皆で演奏  
 会ができたという達成感は大きな喜びにつながった。



「走る紙粘土電車講座」

②愛川町立半原小学校特別支援学級「走る紙粘土電車講座」

3月8日、参加生徒17人、会員で対応  
 電車となる箱に自由に紙粘土や飾りを貼り付け、色を塗って  
 オリジナルの電車を創作。出来上がった電車に駆動部を装着  
 しプラレールの上を走らせ全員大興奮。走らせることで作り  
 方の違いや他の電車が倒れたのを直したり、多くの気づきや  
 協調性を学ぶことができた。



○学校とのパイプ

・今回それぞれの市と町の教育委員会を經由して各学校へア  
 ート体験講座のチラシを配布し、その後電話の打診や直接伺っ  
 て説明したりしたことで、各学校へ事業の周知を深めること  
 ができた。  
 ・その後4校から申し出があり詳細を詰めることができた。残  
 念ながらコロナ禍の影響で2校は直前に見送りとなったが今  
 まで以上に学校とのパイプができた事は大きな成果だった。



○今後の展望

・助成事業を通して多くの学校ともパイプができ、現場のニーズが高いのがわかり今後も実施の可能性が広が  
 った。体験講座の実施方法もモニター越しによる指導や場合によっては先生への指導に切り替えるなどの工  
 夫を重ね、コロナの影響を受けにくい方法で回数を増やしていきたい。その中で今回できなかった発表の場  
 も、学校側とよく連携しスクールアート作品展の実施を図っていきたい。